

## 住民アンケート調査票について

### 1. 調査目的

住民アンケート調査は、現状の移動実態と既存バス交通への改善要望や求めているサービス水準等の利用者ニーズの把握を行うことを目的に実施する。

また、新たな公共交通に対する需要を推定する基礎データとする。

### 2. アンケート調査実施概要

アンケート調査の実施概要は、以下のとおりである。

○ 配布時期：9月中旬

○ 回収時期：9月下旬

※ 配布後の1～2週間を期限とする。なお、データ化の進捗及び回収状況に合わせ期限後に回収されるアンケート票も適宜追加。

○ 調査数：3,000世帯（無作為抽出）

○ 想定回収数：2,700人＝3,000世帯×30%（回収率）×3人/世帯

○ 配布資料：

- ・ 依頼文
- ・ アンケート調査票 →（資料1-2参照）
- ・ アンケート調査票の記入例
- ・ 返信用封筒

### 3. アンケート調査票の構成と活用

アンケート調査票の構成とその活用について下表に示す。

表 アンケート構成及び活用例

|      | 分類                           | 主な調査内容                             | 活用例 等                                                              |
|------|------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 設問 1 | 個人属性                         | 住所、性別、年齢                           | 詳細分析時の集計キー<br>(地区、年齢)                                              |
| 設問 2 | 移動実態                         | 外出目的、頻度、目的地、<br>時間帯、移動手段           | 自宅から何の目的でどこに、どのよう<br>な移動手段により移動しているか「人<br>の動き」を明らかにする              |
| 設問 3 | バス交通の<br>改善要望                | 本数、時間帯、運行ルート<br>等の運行サービスの満足<br>度調査 | バス交通の利用者からは改善要望、非<br>利用者には「利用しない理由」を調査                             |
|      | バス交通に<br>求める要望               | バス停までの距離、運行頻<br>度、時間帯、行きたい場所       | 既存バス交通の見直し及び新たな公<br>共交通を検討する際の目標とするサ<br>ービス水準の基礎資料                 |
| 設問 4 | 成田スカイ<br>アクセス開<br>業に伴う変<br>化 | 北総線利用の変化有無<br>、変化内容                | 増便による利便性向上により、人がど<br>のように変化するかを確認                                  |
| 設問 5 | 将来のバス<br>交通の利用<br>意向         | 税金の活用、バス利用への<br>転換意向               | モビリティ・マネジメントの考え方を<br>意識した設問により、住民の公共交通<br>への利用促進に向けた意識改革の土<br>壌作り。 |
| 設問 6 | 自由意見                         | —                                  | 設問で拾いきれない住民の公共交通<br>に関する意見を調査                                      |